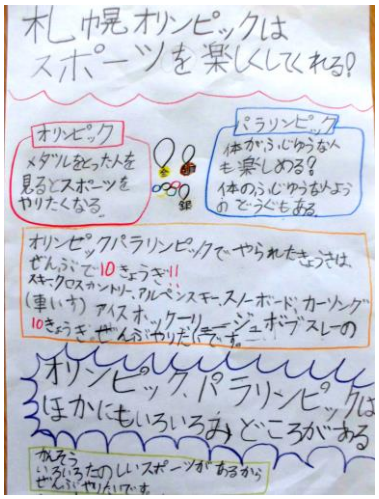
平成３０年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

Ⅰ　スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
Ⅱ　マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
Ⅲ　スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
Ⅳ　日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
Ⅴ　スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【札幌市】

１ 実践テーマ	【　Ⅰ、Ⅴ　】
２ 実施対象者	札幌市立豊園小学校 第３学年　72名
３ 展開の形式	（１）学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間） ② 行事名（　　） ③ その他（　　） （２）地域における活動 ① イベント名（　　） ② その他　（　　）
４ 目標 （ねらい）	・ウィンタースポーツへの興味・関心を喚起し、オリンピック競技への理解を深めるとともに、冬期間における体力向上の取組のきっかけづくりとする。 ・オリンピックについて知ることで、札幌のまちに対する理解を深める。
５ 取組内容	○指導計画【６時間扱い】 ・冬季オリンピックについての調べ学習を行い、競技等への理解を深める。（１・２／６） ・札幌オリンピックミュージアムで体験活動。（３・４／６） ・札幌オリンピックについて調べ、学んだことをまとめて伝え合う。（５・６／６） ○取組の様子 札幌オリンピックのマークと中学校の校章が似ていることに驚き、関心をもっていた。 冬季オリンピックではどのような競技があるのか調べたいという意欲を高めた。

	札幌オリンピックミュージアムでオリンピックの歴史や競技について調べた。 オリンピアンとの交流を通してオリンピックやウィンタースポーツへの関心を高めた。 オリンピックや札幌のまちについて調べたことをまとめた。 
6 主な成果	札幌オリンピックミュージアムで、オリンピアンから直接お話を聞き、交流できたことでオリンピックやウィンタースポーツに対する興味・関心が高まった。 札幌オリンピックについて学んだことで、札幌のまちの歴史について理解を深めることができた。
7 実践において工夫した点	副教材を活用し、ビジュアルを用いながらオリンピックや札幌のまちの発展について学べるよう工夫した。 選手村や本部として使われていた中学校の校章や札幌オリンピックの記念硬貨や記念切手を導入に用いて興味もって調べられるように工夫した。
8 主な課題等	まとめるための時間が必ずしも十分ではなかった。
9 今後の取組について	ウィンタースポーツへの関心が高まったことを、冬の遊びを考える際に生かしていく。